



あおば通信

平成30年 8月 /日 第55号

発行 八戸あおば高等学院

☎031-0081 八戸市柏崎二丁目7-14 ☎0178-22-3470(学院)

気遣いと我慢—修学旅行を終えて—

6月27日から29日まで、2・3年生は修学旅行でした。行先は星槎国際高等学校仙台学習センターと栃木県。初日の星槎仙台学習センターでは仙台の生徒の皆さんとの交流行事として、八戸の紹介を行い、仙台七夕の飾り付けのお手伝いをしました。その後、栃木県那須高原に移動し那須とりっくあーとびあの見学。2日目は世界遺産でもある日光東照宮の見学と日光江戸村・東武ワールドスクエアの見学。最終日は殺生石や恋人の聖地を見学した後、那須どうぶつ王国にて動物のショーなどを楽しみました。残念ながら雨と高温の繰り返しで普段よりも疲れを感じた生徒も多かったことと思いますが、行ったところ夫々で心に刻む思い出が出来たことと思います。



今回の修学旅行にあたり、事前学習で『気遣い』が出来るようになろう、『我慢』が出来るようになろう」と2つの目標を話しました。集団生活では自分のことは勿論、声かけなどお互いのコミュニケーションが必要になってきます。ホテルは4人の相部屋です。就寝時間に寝たい人もいれば、まだ起きていたい人もいるでしょう。食事やお風呂、就寝・起床時間など定められている時間は、普段は自宅で個室が与えられ、家族の中だけのルールや自分で自由に決めている皆さんには、もしかすると苦痛だったかもしれません。

しかしながら、今回の旅行を通じて、多様な人々と目標に向かって協力する力、自分の意見を分かり易く伝える力、相手の意見を丁寧に聴く力、意見の違いや立場の違いを理解する力、自分と周囲の人々や物事の関係を理解する力、ルールや人との約束を守る力、ストレスの発生源に対応する力など、「チームで動くこと」を一人ひとりが身につけ、仲間と共に学び、多くの新たな発見や感動を得られたのではと思っています。仙台での交流授業やホテルの各部屋での役割分担など、夫々が自分の役割を理解し全員の手で「楽しい修学旅行」にしてくれました。この経験はこれから生きていくうえでとても大事なことであり、皆さんの人生に大きなプラスとなったに違いありません。



保護者の皆さまにはいろいろとご協力いただきありがとうございました。事前の準備や体調管理等、ご家庭での支援があったればこそ体調を崩さず修学旅行を楽しむことができたと思います。おかげを持ちまして、生徒は皆、良い体験をしたくさんの気づき・学びをし一歩成長できたと思います。重ねて御礼申し上げます。

<生徒の感想から>

- ・ 楽しみな気持ちと少々不安があったが結果的に思い出に残る3日間を過ごせた。今まで寝泊まりしたことのない人たちと2泊を共にしたり、話したことのない人たちと会話が生まれたりして修学旅行という力でしかなしえない出来事がたくさんあった。【S・T (3年・根城中卒)】
- ・ 3日間を通して、人への配慮や気遣いを学ぶことが出来ました。楽しい思い出もたくさん出来ました。トリックアートも想像以上の凄さだったし日光東照宮の荘厳さや江戸村の雰囲気はずっとここにいたいと思うほどでした。とても楽しい旅行でした。【K・I (3年・八戸東中卒)】
- ・ 今回の修学旅行で学んだことがあります。仲間を思いやり気遣う心です。集団行動を通して仲間を大切にできる心が前より強くなりました。星槎での発表では司会をやりましたが、初めての経験だったので少し緊張しました。【Y・K (2年・十和田中卒)】
- ・ 特に面白かったのは江戸村とワールドスクエアです。江戸村自体が大きなセットとなっていて役者さんも格好がよかったです。ワールドスクエアの模型も楽しめました。外国の世界遺産とかたくさん見られて面白かったし、将来見に来たいと思いました。【S・H (2年・湊中卒)】



学習講演会を開催します

9月/5日(土)に星槎大学大学院の仁平義明彦先生を講師に、多様な子どもたちの支援や学びについてを学ぶ講演会を開催します。お気軽にご参加ください。(講座はあおもり県民カレッジの単位認定講座となっております)



日 時：平成29年9月/5日(土) / 4時～
 場 所：八戸商工会館(八戸市堀端町2-3)
 テーマ：「いじめ・虐待からの心の回復(レジリエンス)」
 講 師：仁平 義明先生(星槎大学大学院教育研究科教授、東北大学名誉教授)
 入場無料(定員50名 会場の都合上、定員になり次第締め切ります)

^^*^*^*^*^* **あおば TOPIC 学院** *^*^*^*^*^*^*



6月/4日に進路指導の一環として八戸調理師専門学校・専門学校アレック情報ビジネス学院の見学を行いました。また、7月5日には、八戸学院大学短期大学部の天摩雅和先生から「大学・短大で学ぶ意義」と題しお話をいただきました。参加した生徒は「学歴は持っている損はないので焦らず時間を惜しまず将来のことを考えて進学を決めたい(3年女子)と感想を話していました。



第32回八戸市学生書道展が6月29日から7月/日まで八戸市公民館で行われ、2年生の漆畑友一さん(三本木高校付属中卒)の作品が八戸市文化協会賞に選ばれました。

表彰式は/日に八戸グランドホテルで行われました。出展した全員の作品は校



内に掲示してありますのでご来校の際はどうぞご覧ください。
 【漆畑君(左)と書道担当の晴山先生】

青森県教委主催の「自然体験交流塾」が7月7日に種差少年自然の家で開かれ、本学院の生徒全員が参加しました。当日は生憎の天気で野外活動は中止。八戸学院大の学生ボランティアなどと一緒にレクリエーションやコミュニケーションゲームを行いました。最後は6班



に分かれカレー作りに挑戦。班ごとに隠し味を決めて特徴ある美味しいカレーができました。

あおばの会からのお知らせ

◎ふれ愛・あおば食堂

<8月4日、9月/日実施予定>

ひとりでごはんを食べることが多い方を対象に、第/または第2土曜に「ふれ愛・あおば食堂」を行っています。ふれ愛・あおば食堂は「みんなでごはんを作って食べ(後片付けも自分たちで行います)、勉強したり、遊んだりする仲間作りの場」です。食糧品の提供もお待ちしております。



◎フリースペースあおば

火曜～金曜 /3～/7時

フリースペースでは、家から出て通うことから始めます。それから子どもたちのニーズに応じたサポートを行います。地域の皆さまや八戸あおば高等学院に通う生徒たちとの交流を行いながら、人や社会との関わりを身につけます。「学校以外に子どもたちが輝く場所」。そんな場所になれたらと考えています。

あおばの会では活動に賛同してくださる方を募集中です。☎0/78-22-3470(事務局)

今後の主な行事予定(8月・9月)

- 8月 /日～/6日 夏季休業・補習授業
- 4日 ふれ愛・あおば食堂
- /7日 全体スクーリング(/3時までに登校)
- 2/日・28日 カウンセラー面談日
- 28日 保護者会「あおばの会」
- 25日～30日 春学期末試験(/.2年)
- 30日 総合学習スクーリング
- 3/日 通常授業再開
- 9月 /日 ふれ愛・あおば食堂
- 7日 卒業式予行練習(/3時までに登校)
- 8日 卒業式(/3時までに登校)
- //日～ 学期末休業・補習授業(該当者)
- /5日 学習講演会
- /0月 4日 秋学期初インテション(/3時までに登校)

○教育相談 坂本先生 8/21 小野寺先生 8/28

<電話・Lineによる相談も行っています>